

令和6年度 市民の声一覧(下半期公表)

受付月	分類	件名	市民の声	回答(対応)内容	回付先
11月	健康・医療・衛生	ヤスデの大量発生について	ヤスデの大量発生で困っています 各家庭でも薬剤を使って色々試行錯誤していますが、減るどころか増え続けています。 なんとか対処してもらえないでしょうか。	ご相談いただきました「ヤスデの大量発生への対処」につきまして、本市では、私有地の害虫駆除はしておりませんが、町内会や衛生組合単位で薬剤購入に対する補助を行っています。 お住まいの地域全体でお困りの場合は、町内会や衛生組合経由で薬剤の購入をしていただくことがよろしいかと思います。ヤスデ対策用の薬剤『シャットアウト粉剤』を購入する場合、事前にお申込みいただくことで購入した薬剤と同量の交付（現物支給）を行っております。 薬剤交付の詳細につきましては、高知市生活食品課のホームページ『衛生害虫等の駆除について』をご確認ください。 また、家屋への侵入防止策としては、薬剤散布のほか、ヤスデは表面がつるつるした場所を進むことができないため、ステンレス板や紙製のガムテープなどのつるつるした面を家屋の周り（基礎の立ち上がり部分、柱、壁など）にはることで進入を防ぐことができますので、ご検討ください。なお、テープをはがす際は、粘着跡や塗装のはがれにご注意ください。 今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。	生活食品課
12月	健康・医療・衛生	新型コロナワクチン後遺症患者救済についての提案	予防接種健康被害救済制度について、奈良県や春日井市のようにホームページや幅広い広報媒体で分かりやすく案内する事。 予防接種健康被害救済制度申請希望者に、分かりやすい書き方案内を作成し、希望者に案内を配布、ホームページや幅広い広報媒体で周知する事。 市内全ての病院に対して予防接種健康被害救済制度を希望される患者さんに、受診証明書の記載やカルテの写しの拒否をしないように通達を出す事。 病院用に「受診証明記載マニュアル」を作成しホームページ広報で案内する事。また、作成したマニュアルを医師会、各病院に分かりやすく案内、周知する事。 ワクチン接種記録の保管期限延長、若しくは接種者手帳の発行を国に働きかける事。 市内の小中学校に通う、ワクチン健康被害の児童・生徒に対する、教育を受ける機会の保持の為、被害を把握するための調査を行い、各学校に体調不良で通えなくなった子供にオンライン授業を検討したり、出席日数に関して、診断書がある場合出席停止扱い等を検討したり、進級卒業に関し柔軟な対応を行うよう各学校に通知する事。 ワクチンによる健康被害によって職を失った方、体調不良による再就職の難航者に対する生活の救済の為、調査を行い必要な処置を行うよう、国に働きかける事。	予防接種健康被害救済制度に関する案内について、接種実施医療機関には事務マニュアル等の配布、接種者には副反応や予防接種健康被害救済制度についての説明書を作成し、接種医療機関で配布、予診時の医師による説明（予防接種の効果や副反応と併せて）や市ホームページでの周知等による案内を行っております。また、予防接種健康被害救済制度申請希望者には、制度概要のチラシや申請書類の記載例の配布、電話又は対面により丁寧な説明を心掛けながら相談対応を行い、必要に応じて国・県への働きかけ等の対応をしてまいりたいと思います。	地域保健課
3月	健康・医療・衛生	男性の子宮頸がんワクチン接種について	子宮頸がんの検査やワクチンを接種していています。ヒトパピローマウイルスの感染は男女共に感染するのに、なぜ女性しか予防接種をしないのか。男性は女性の体を守るために接種するという概念は無いのでしょうか。 男性も接種すべきと言う声は上がっているにも関わらず、公的機関からの啓発活動は何もありません。だから男性は自分には関係ないと捉えてます。成人男性の殆どが感染者であるにも関わらず。感染者であるという自覚すらありません。 何とかして下さい。女性のワクチン接種を推奨する以前の問題だと思います。男性にも自覚を持たせて下さい。問題意識が欠如してます。啓発活動を行って下さい。お願い致します。	男性への子宮頸がん(HPV)ワクチン接種についてご意見をいただきありがとうございました。ヒトパピローマウイルス(HPV)は感染しても、約90%の確率で、2年以内にウイルスは自然に排除されるとされています。しかし、ウイルスが自然に排除されず、数年から数十年にわたって持続的に感染した場合には、がんになることがあると報告されています。これまでも国において男性のHPVワクチン接種の定期接種については検討されておりますが現時点では定期接種とはなっておりません。 国では定期接種化を検討する際に、ワクチンの安全性、有効性、費用対効果の3つを重視して評価をすることとなっております。男性のHPVワクチン接種については、疾病に罹患した場合の医療費やワクチン接種費用などを勘案し、男性の定期接種化とはなっていない経過があります。しかし、ご意見にもありましたようにヒトパピローマウイルス(HPV)は子宮頸がんの他にも様々ながんと関連があると言われており、異性間の性的接触がHPVの主要な感染経路でもあります。また男性につきましては、全額自己負担となりますが4価ワクチンのみが薬事承認されており、希望される方の任意接種は可能となっております。 高知市におきましても、男性のHPVワクチン接種についての情報提供等は行えていない状況がありましたので、今後分かりやすく市民の皆様へ情報提供ができる方法を検討してまいりたいと思います。	地域保健課